

八尾市総合計画審議会 第1回評価部会  
議事録

日 時：令和6年1月9日（火）18時30分～20時40分

場 所：八尾市役所本館 6階 大会議室

出席者：和泉委員、清水委員、田中部会長（Web参加）、和田委員（Web参加）、柿本委員、川野(昭)委員、佐野委員、重田委員、田上委員、宮本委員  
事務局

※委員名は号数順の五十音順

1. 開会

**事務局（政策推進課）**

ただいまより、八尾市総合計画審議会第1回評価部会を開催させていただきます。  
本日は新年早々の会議にも関わらずご参加いただき、誠にありがとうございます。

2. 部会委員紹介

**事務局（政策推進課）**

評価部会にご所属いただきます委員の皆様を改めてご紹介します。

**【1号委員】**

田中部会長、和田委員（以上 Web 参加）、清水委員、和泉委員

**【6号委員】**

柿本委員、川野委員、佐野委員、重田委員、田上委員、宮本委員

**事務局（政策推進課）**

事務局として、本日の審議対象の施策に関連する所属も同席しています。

それでは、議事進行を部会長にお願いしたいと思います。田中部会長、よろしく申し上げます。

**田中部会長**

明けましておめでとうございます。新年早々に委員の皆さまにお集まりいただき、また市職員の方々も参加いただき、ありがとうございます。本日は所用があり、リモートで参加させていただきます。

今年は年明けから様々な出来事があり、先行きが不透明な幕開けとなりました。本計画も、これまで進めてきた取り組みを評価するとともに、まだ起きていない将来に向けた想像力が試されます。皆さまも、まだ見えないモノに対しても想像力を働かせ、叡智を結集して議論いただきたいと思います。

### 3. 副部会長の専任

#### 田中部会長

第1回の全体会議で説明がありましたように、副部会長は部会長が指名することとなっていますので、私から清水委員にお願いしたいと思います。何かあった際にはよろしくお願ひします。

#### 清水副部会長

副部会長の拝命を受けましたので、何かあった時には司会役を引き継ぎます。基本的には部会長をサポートしながら評価部会を進めていきたいと思っています。総合計画の評価を踏まえて、次の計画を策定していく、この評価検証は重要な作業であり、様々な視点から、忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。

#### 田中部会長

今回の審議会には、多くの市民委員にご参加いただいています。せっかくの機会なので、まず自己紹介もかねて、お一人ずつお話をいただきたいと思っています。お話いただく内容は、今回参加した想い、興味・関心のある分野、地域活動や大学での経験など、どんなことでも構いません。お一人1～2分程度でお願いします。

#### 和泉委員

これまでも八尾市の行政計画策定に携わってきました。今回の評価が次の計画につながるとの認識を持って、取り組みたいと思います。私の研究テーマは、文化財や観光振興ですが、その他の項目についてもできる限り発言していきたいと思っています。

#### 柿本委員

6年前に八尾で勤務することになり転入しました。仕事では法人営業に関わっており、市内の企業の方々とお話する機会が多く、行政の取り組み等についても勉強させてもらっています。こうした経験や交流からお話できればと思います。

#### 川野委員

居住地域から離れているため、あまり市役所周辺に来る機会はありません。最近、「まちのコイン」で市内を巡る機会があり、まちづくりへの関心があって、今回、参加させていただきました。八尾市には40年以上住んでいますので、その経験を生かしてお役に立てればと思います。

#### 佐野委員

唯一の10代の代表として緊張しています。若者の視点から、また、関心を持っているい

じめ問題等に関して発言できればと思います。大学では経営・マーケティングを学んでいます。

#### **重田委員**

小さい子どもがいるので、八尾市の保育に対する取り組み等に興味があり、今回、参加させてもらいました。

#### **田上委員**

70代です。ボランティアにも取り組んでおり、最近では地域の高齢者の皆さんと心合寺山古墳（しおんじやまこふん）や高安千塚古墳で年2～3回草刈などの清掃活動や、他市の歴史講座の手伝い等もしています。八尾市のPR等にも興味があります。

#### **宮本委員**

経済学を学んでいます。大阪には進学率や所得で南北格差があるといわれ、そのことに興味を持っています。大阪南部の都市である八尾市の施策に関心があり、今回、応募しました。

#### **和田委員**

大学では経済学を研究・指導しています。学生がそうした分野に興味を持つのを嬉しく思います。八尾市では経済の活性化や行政改革等の分野で関わりを持っています。第6次総合計画の策定に関わった委員の一人として、皆さんとの協議を重ね、次のよりよい計画づくりにつなげていきたいと思っています。

#### **田中部会長**

多様なバックボーンを持つバランスのとれたメンバーになっていると思います。このメンバーでの審議を楽しみにしています。

#### **4. 八尾市第6次総合計画前期基本計画施策総括書について**

##### **田中部会長**

次に、次第「4.八尾市第6次総合計画前期基本計画施策総括書について」、事務局より説明をお願いします。

##### **事務局（政策推進課）**

八尾市第6次総合計画前期基本計画施策総括書について説明

##### **田中部会長**

施策総括書は34の施策について、実績をまとめて行政による内部評価を行ったものとい

うことです。評価部会では、確認したいことを掘り下げ、検証を行うとともに、後期計画の策定に向けて必要なことを提案するのが本会議の役割です。質問などありますか。

(ご質問なし)

#### 5. 施策の審議について

##### 田中部会長

それでは、施策ごとの審議に進みます。本日は資料1に基づき、施策1から施策4、施策19から施策21、施策23から施策26、全部で11施策を対象に審議します。いくつかの施策についてまとめて説明を受け、そのまとまりごとに審議を行います。予定通りに進まず、時間切れとなった場合は、予備日に回すこととします。

まずは施策1から施策4、子育てや教育に関する施策について、事務局より説明をお願いします。

##### 事務局（政策推進課）

施策1～施策4について説明

##### 田中部会長

施策総括書は文字も多くなっていますが、パワーポイントのスライドでコンパクトに分かりやすく説明いただきました。

まず施策1について、質問があれば挙手をお願いします。

##### 清水副部長

相談窓口や「ほっぷ」設置の意義は大きいと思います。しかし、場所をつくって「さあ、いらっしやい」にはなっていないのでしょうか。施策指標の相談件数は高い達成率ですが、計画値の設定の仕方と、「ほっぷ」の実態について教えてください。3年目ですでに100%を達成していますが、3年目という通過の段階で達成と言い切ってよいのですか。

##### 事務局（こども総合支援課）

「ほっぷ」は、「どこに行っても相談したらいいか分からない」という子どものいる家庭について、まずはどんな内容でも受け付けて、必要な支援につなげる窓口として、令和4年10月に開設しました。相談いただくということは何らかの課題があるということでもありますが、まずは相談を聞く場をつくるというのが開設の意図です。

##### 清水副部長

窓口を明らかにできたという意味では良かったと思います。説明のように、相談が増えていくということは課題も多いと考えられます。どのような相談が増えているのか、分析はさ

れていますか。

#### **事務局（こども総合支援課）**

施策指標における児童虐待の相談件数で言いますと、令和4年度の総合相談件数は約13,654件受け付けており、そのうち9,041件が児童虐待に関するもので、かなりの割合を占めています。その他、発達障がいや育児・しつけに関する相談などがそれぞれ1,000件を超えております。

#### **清水副部長**

指標の達成率が100%というのは、施策指標の達成率が全て100%を達成しているということですか。

#### **事務局（こども総合支援課）**

ご指摘の通りです。

#### **田中部会長**

他にご意見ありますか。

#### **和田委員**

4・5頁の施策総括シートの見方ですが、「5 『めざす暮らしの姿』 実現のための施設指標の推移」に示されている3～5個の指標がどれだけ達成されているか、例えば3つの指標があり、その全てが100%の達成率なら、「2 内部評価」の「指標の達成率」も100%になっているのですね。

このシートの見方で注意が必要なのは、「4 施策評価の推移」における各年度の総合評価（A～C）がC評価だとしても、指標（数値目標）の達成率が高ければ、「2 内部評価」の「指標の達成率」も高くなるという点です。あくまで指標（数値目標）に対する達成率なので、それをもって施策の総合評価を判断するのではなく、各委員から意見をいただき、議論した上で判断しなければ、スルーしてしまう懸念があります。

#### **田中部会長**

どうしても数字で示されたものに引きずられがちですが、数字の裏側にある背景や意図をくみ取って、意見をいただきたいと思います。「2 内部評価」の指標の達成率が高くて、「4 施策評価の推移」がリンクしてこない部分もありますので、我々もしっかり見ていきたいと思います。

## 清水副部長

「2 内部評価」の施策の総合評価◎○△の判断は、指標の達成率と関連するのでしょうか。例えば、施策2の指標の達成率は98.5%で施策の総合評価は○、次の施策3の指標の達成率は97.5%で施策の総合評価は◎になっています。各部署での自己評価ではありますが、その評価が妥当かどうかは評価委員会での検討の対象になるのでしょうか。

## 田中部会長

審議会としては、忌憚なく意見を述べればよいと考えます。例えば◎の根拠を聞いた上で、「◎の評価は違うのではないか」となれば、その思いをそのまま伝えればよいと思います。

## 事務局（政策推進課）

ご指摘の通りと考えています。

## 柿本委員

私自身、「ほっぷ」のことを知らず、聞いたこともありませんでした。どんなPRをしていますか。また、「ほっぷ」に相談や問い合わせをした人に対して、アンケート等は実施していますか。

## 田中部会長

PRや利用者アンケートについてのご意見です。ご担当からお願いします。

## 事務局（こども総合支援課）

「ほっぷ」の周知は、市ホームページや市政だよりのほか、4か月健診を受けた人にお知らせしています。4か月健診は皆さんが受けられるので、これを繰り返していけば、お子さんのいる全ての家庭に周知できると考えています。

また相談者にはアンケートを一定期間実施しており、対応については概ねご好評いただいております。

## 事務局（こども若者政策課）

情報発信としてはそれ以外にも、「ほっぷ」には学校現場の経験者を配置しているため、学校に情報を伝えて、学校からの相談にも対応しています。また、市公式生活応援アプリ「やおっぷ」のプッシュ機能を活用し、対象となる方に積極的に情報発信を行っています。地域子育て支援拠点の「つどいの広場」や「地域子育て支援センター」等の地域の身近な相談施設からも「ほっぷ」につながるように、多様な発信に取り組んでいるところです。

## 和泉委員

「3 後期基本計画への展望」の重要課題の記述方法は、各施策によって箇条書きであったり、文章形式であったりしますが、書き方は限定していないのですか。

## 事務局（政策推進課）

特に限定はしておらず、両方のケースがあります。

## 和泉委員

重要課題は明確に分かる書き方が良いと思います。例えば、7頁の重要課題に、「…『こども家庭センター』として相談支援体制の強化を図る。」とありますが、「4 施策評価の推移」のR3実績の文章中には、「…人員体制を段階的に整備し、子育て相談・発達相談機能の拡充に取り組んだ。」と、人員体制を明確に示した記述があります。「相談支援体制の強化を図る」という部分で、もう少し具体的な書き込みがあればと思います。それとも、あまり具体的にしない書き方で統一しているのでしょうか。

## 事務局（こども総合支援課）

「ほっぷ」は、どこに相談したらよいか分からない方のご相談をお聞きする市全体の窓口の役割を担うため、教職員の経験者や弁護士を配置するなどし、相談支援体制を強化しています。表現方法については事務局とも相談させていただきます。

## 田中部会長

次に施策2について、ご意見はありますか。

## 宮本委員

「4 施策評価の推移」のR5実績見込みに、教育・保育の2歳児無償化とありますが、2歳児に限定する理由は何ですか。さらに拡大はできないのでしょうか。

## 事務局（保育・こども園課）

国の制度として3歳児以上は全て無償となっています。また、0～2歳児までの非課税世帯も無償となっています。本市ではさらに上乘せし、市独自の制度として2歳児の課税世帯も無償化し子育て家庭を応援しています。

## 佐野委員

施策指標の「市内で働く保育士・保育教諭数」がR4では減少しています。保育士は低賃金だという認識も強いと思いますが、保育士を増やすためにどんな取り組みを考えていますか。

### 事務局（保育・こども園課）

保育士・保育教諭は保育所側のニーズに比して社会的に不足して来ており、市内でも行政支援が無ければ、民間保育所が独自に保育士を確保することは難しくなっています。市としては、まず就職フェアを実施し、市内保育所等に勤務される応募者の拡大を図っています。さらに、都市間競争が生じているため、八尾市の保育所等に就職した場合には、家賃補助や3年間勤務いただくと年10万円の祝い金を支給するなど、公民連携で保育士等の確保に取り組んでいます。R3からR4にかけては産休・育休等の増加もあり、保育士等の数値は減っていますが、それぞれ配置基準をクリアした上で運営してもらっています。

### 清水委員

施策指標の「教育・保育入所受入れ枠」は増えている一方、保育士等の数は減っています。必要な人員が確保できているというのは、子どもの数あるいは利用者が減っているということでしょうか。

### 事務局（保育・こども園課）

「教育・保育入所受入れ枠」の計画値は、幼稚園の教育枠と企業主導型の保育枠、市で整備する認可保育所等の保育枠の合計となります。実際には、共働き世帯の増加などの要因から幼稚園へのニーズが減少する一方、保育所希望が増えていますが、保育所の整備は順調に進んでおり、トータルとして計画値を下回りつつも枠の増加は実現する推移になっています。現在、保育士・保育教諭の数は配置基準を上回り充足している状況です。

### 清水委員

幼稚園から保育所にニーズが移行しているのであれば、次の計画では、そのニーズが拾える指標を設定してもよいかもしれません。

### 田中部会長

次に施策3について、ご意見をお願いします。

### 和泉委員

施策指標の「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」の児童とは高学年ですか。

### 事務局（学校教育推進課）

言葉の定義として、児童は小学1年生～6年生、生徒は中学1年生～3年生までとなりますが、この指標は全国学力・学習状況調査の結果を活用していますので、実質的には、児童は小学6年生、生徒は中学2年生の数値となります。



## 和泉委員

1年生に夢や目標を聞くとなると、指標としてちょっと難しいと思い、確認させてもらいました。

「めざす暮らしの姿」の番号と「5 『めざす暮らしの姿』実現のための施策指標の推移」の指標の番号は、対応するものでしょうか。

## 事務局（政策推進課）

「めざす暮らしの姿」1つに対して、原則1つ以上の指標を設定することとしています。「めざす暮らしの姿」が4つあり、施策指標が4つある場合は、「めざす暮らしの姿」の1つ目に施策指標の1つ目に対応する形になっています。例えば、「めざす暮らしの姿」が3つあるもので、施策指標が4つある場合については、施策指標の番号は対応していません。

## 和泉委員

感想ではありますが、1つ目の「めざす暮らしの姿」が、「将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合」の指標で図ることができるのかなと思いました。

施策指標の「『いじめはどんな理由があってもいけないことだ』と思う児童・生徒の割合」の計画値は、毎年上げていくべきものでしょうか。最初から目標は100%としてもよいのではないかと思います。

## 事務局（人権教育課）

実際には毎年、100%をめざして取り組んでいます。基準値の96%からいきなり1年で100%にあげるのは難しいという判断から、地道に一步ずつでも上げていきたいという思いから、このような計画値にしています。

## 柿本委員

3点お聞きします。

第一に、重要課題に「学校 ICT の推進」が記載されていますが、今後、どうしていかうとお考えですか。

第二に、各家庭に1台のパソコンが必要になると思います。家計が苦しい家庭に対して何らかの施策を講じる考えはありますか。

第三に、ICT にはいじめという課題も危惧されますが、何らかの対策はお考えですか。

## 事務局（教育センター）

第一については、国が GIGA スクール構想を令和2年度から前倒しし、個別最適な学び、協働的な学びの2本を柱にしながら、子どもたちの個々の状況に応じた学びを ICT を活用して進めています。本市では、個別最適な学びでは、AI を搭載した学習支援ソフトを活用

し、また、協働的な学びにおいては、個々人の考えを教室内で瞬時に共有しながら進められるような教育に取り組んでいます。

第二についても GIGA スクール構想によって市で機器を一括購入し、小中学校の子ども全員に一人1台のタブレット端末を貸し出ししており、授業や調べ学習に活用しています。家庭学習にも使えるようにしており、インターネット環境がない家庭にはモバイルルーターを貸し出しています。

第三については、ICT が新たな学びの形に前進しており、コミュニケーションが取れる効果的な面もありますが、正しく使用されるよう、情報モラル教育をあわせて指導しています。

### **田中部会長**

次に施策4について、ご意見はありますか。

### **田上委員**

公園がサッカー禁止のため、子どもが集まってゲームをしている姿を見かけます。安全面の問題もあるかもしれませんが、学校のグラウンドを子どもたちにオープンにすることはできないのでしょうか。

### **事務局（学校教育推進課）**

学校運動場の開放は、自校生徒については開放しています。

### **和泉委員**

「めざす暮らしの姿」の4つ目の主な取り組み内容に、「大畑山青少年野外活動センターにおいて、…居場所づくりを実施した。」とありますが、重要課題に「すべての子ども・若者」との表現もある中で、今後、色々な場所で展開することは考えていますか。場所が限定されているように感じます。

### **事務局（こども若者政策課）**

子ども・若者の居場所づくりについては、一定の取り組み場所以外にも、子ども食堂や学習支援等の取り組み等も進めています。ただ、居心地は人によって感じ方が多様であり、どんなところが子どもにとってよいのか考えながら、今後も進めていきたいと思えます。

### **和田委員**

「めざす暮らしの姿」の4つ目の「子ども・若者が地域に集える居場所があり…」と指標の「青少年健全育成に関する地区住民懇談会の実施地区数」との関係はどのように考えられますか。地区住民懇談会はどんな機能を果たすものなのでしょうか。

### **事務局（生涯学習課）**

地区住民懇談会は小学校区ごとに実施する懇談会です。夏休みなど長期休暇時期に、子どもたちが犯罪に巻き込まれたり、非行に走らないよう講習会を実施するといった取り組みを行っています。コロナ禍で実施地区数が下がっていましたが、順次回復しています。

### **和田委員**

居場所づくりというより、青少年健全育成に関わる取り組みということですね。

### **事務局（生涯学習課）**

その通りです。

### **田中部会長**

子ども食堂に代表される居場所づくりへの支援に関する指標は、必要になるかもしれません。今後、可能性を検討してください。

### **清水副部長**

「めざす暮らしの姿」の3つ目の指標となる「若者相談窓口における相談件数」の数が増えています。これだけ悩みや課題を抱えている子どもや若者がいるという注目すべき数字です。これを受けて、次の手立てを考える必要があると思いますが、相談内容の傾向はどのようなものでしょうか。

### **事務局（こども若者政策課）**

若者相談支援事業は令和2年秋に、電話相談をスタートしました。相談内容に引きこもり等が多くありましたが、電話相談ではリピートが難しいということから、令和4年に対面相談を取り入れました。大幅な増加はそうした取り組みの結果です。同じ対象で回数を重ねること、保護者から本人につながることなどによって件数が増えています。引き続き取り組みを進めていきます。

### **佐野委員**

引きこもりなどは昔からあり、家族にも認知されている問題でもあります。最近ではLGBTQなど当事者が相談しにくい精神面に関する難しい問題もありますが、何か対策はされているのでしょうか。

### **事務局（こども若者政策課）**

人権の問題も関わるので人権の施策での議論になるかと思いますが、施策4での取り組みとしては、若者相談はまず、入口を広く受け付けています。その中でLGBTQなど専門

的な相談については、専門の相談支援機関につないでいくことになるかと考えます。

#### **田中部会長**

他にご意見がなければ、次のまともりに行きたいと思います。

#### **事務局**

施策 19～施策 21 について説明

#### **田中部会長**

まず施策 19 について、ご意見ををお願いします。

#### **川野委員**

地域コミュニティによって取り組みに差があると思います。大正のコミュニティでの健康づくりを利用していますが、志紀のコミュニティで受けたいものがあったとしても近くでは受けられません。健康づくりに関する取り組みをもっと受けやすく、機会も増やしてほしいと思います。

#### **事務局（健康推進課）**

各地区には担当保健士がおり、例えば健診等を踏まえると地域ごとに課題も異なることから、地域の特性に応じた取り組みや支援を行っています。地域ごとに差があるのは確かですが、全市一律で進めるのは難しいところもあり、まず意識の高い団体を支援し、そこから広げていくという取り組みを進めているところです。地域でもお声掛けいただき、共に進めてもらいたいと思います。

#### **川野委員**

平日は働いており、コミュニティの企画に参加できないといったことがあります。休日にも参加できるような企画もお願いしたいと思います。

#### **田中部会長**

次に施策 20 について、ご意見ををお願いします。

まず私からで申し訳ありませんが、主な取り組み内容に「…ゲートキーパー養成講座を実施し、…」とありますが、ゲートキーパー養成講座を指標化できませんか。どれくらいの人を養成し運用しているのか追えないでしょうか。

#### **事務局（保健企画課）**

同講座は市職員を対象としたもので、令和元年から令和 5 年 8 月までに 680 名が受講し

ています。新型コロナウイルス感染症の影響もあって本格的に実施できていませんでしたが、来年度からの自殺対策の新たな計画を策定する中で検討していきたいと思います。

#### 田中部会長

「3 後期基本計画への展望」で若者等の自殺者数の動向を指摘されており、施策の横のつながりを意識して、施策4の「子ども・若者の健全育成と支援の推進」と関連付けて考えられるようにしてほしいと思います。

重要課題で「昭和39年に建築された当施設は老朽化が進み、…」の当施設とはどこのことですか。

#### 事務局（保健企画課）

保健所をさしています。

#### 清水副部長

次期計画に向けて考えると、ここでの指標は「健康危機管理訓練の実施回数」でよいのでしょうか。「めざす暮らしの姿」は1項目ですが、テーマは多岐にわたっており、事務事業数は18もあるようなので、内容に合った適切な指標の検討をお願いします。

#### 田中部会長

きちんと評価が把握できるような施策指標を立てていただく工夫をお願いします。

次に施策21についてご意見ををお願いします。

（ご意見なし）

#### 田中部会長

後で何かお気づきのことなどあれば、最後にまとめて伺いたいと思います。

他にご意見がなければ、次のまとまりに行きたいと思います。

#### 事務局（政策推進課）

施策23～施策26について説明

#### 田中部会長

施策23についてご意見ををお願いします。

#### 和泉委員

質問ですが、「2 内部評価」の総括に記載のある「地域の資源」は何をさすのですか。

### 事務局（地域共生推進課）

福祉サービスの利用につなぐことによって、課題を解決する方法もありますが、例えば、ひきこもり支援のサービスがなくても、商店、事業所、子ども食堂、カフェなど、民間も含めた地域のあらゆる場所、居場所につないでいます。

### 田中部会長

イメージしやすい表現が可能なら、工夫してください。

### 清水副部長

施策 23 から施策 26 の指標で、令和 3 年に一度落ち込んで、令和 4 年に戻すという計画値になっているものが多々みられます。何か背景となることがあるのでしょうか。

### 事務局（地域共生推進課）

事業開始から一度落ち着いて、それを再度引き上げることをめざすケースがあります。またここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響も大きくあり、全体的に数値が落ち込んだという事情もあります。

### 清水副部長

数値の捉え方や調査手法に変更があったということではないのですね。理解しました。

新型コロナウイルス感染症の影響はどの施策にもあったと思いますが、これをいかに捉えるか、考える必要があります。仕方なかったところ、落ち込んだところは確かにあったと思いますが、だからダメな評価にするというものでもないと思います。皆さまとも相談させていただきたい部分でもあります。

### 田中部会長

今すぐに答えを出せることではありませんが、ご意見については我々も念頭において、意見を述べていきたいと思います。

次に施策 24 についてご意見をお願いします。

（ご意見なし）

施策 25 についてはどうでしょうか。

（ご意見なし）

次に施策 26 についてはどうでしょうか。

## 和泉委員

「めざす暮らしの姿」は一つにまとめてよいのでしょうか。内容は3つくらいに分かれていそうですが。

## 事務局（生活福祉課）

生活困窮者支援の取り組みが一本化されているので、こうした表現にしています。

## 和泉委員

事務局としてこれで整理できているということなら、結構です。

## 田上委員

市内の生活困窮者の人数はどれくらいですか。

## 事務局（地域共生推進課）

「生活困窮者」という人数の出し方は難しいのですが、非課税世帯の対象は 35,000～36,000 世帯程度です。

## 田中部会長

最後に、全体を通しての意見、追加したい意見などをいただいて、まとめたいと思います。全体を通してご意見はありますか。

## 重田委員

施策4に関して、小学3年生の子どもがいるのですが、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症で学級閉鎖になることが多くありました。そうした時、先生に連絡を取ろうとすると、17時以降は電話に出ていただけません。学校からのメールは一方的な受け取りになってしまいます。インフルエンザでは一週間程度、休むこととなりますので、電話以外にやり取りができるような方法があれば、親も助かるのではないのでしょうか。

## 田中部会長

学校・園との連絡共有に関するご意見です。事務局から何かこの場でお答えできることはありますか。

## 事務局（学校教育推進課）

すぐに明確な回答とはいきませんが、現在は連絡ツールも学校ごとに様々になっている状況です。ご意見は各学校等と共有したいと思います。長期休暇には ICT 機器を持ち帰ってもらい、担任と子どもたちで連絡し合っています。同じくご家庭と連携ができるような方

法については、検討したいと思います。

**田中部会長**

ICT ツールの普及と関連付けて、進めていくべきものでしょう。

時間の限りもありますので、本日の会議後、各委員から追加で意見があるという場合は、事務局にメールを送る形でもよいでしょうか。

**事務局（政策推進課）**

ご提案の通り対応したいと思います。

**田中部会長**

それでは、本日、言い足りなかったこと、後から気付いたことなどあれば、次回までに事務局に伝えてください。

6. その他

**事務局（政策推進課）**

今後のスケジュールについて説明

**田中部会長**

既に次回のテーマはお知らせしており、資料もお手元にありますので、事前に目を通してください。

遅くまでありがとうございました。以上で議事を終了します。お疲れさまでした。

**事務局（政策推進課）**

以上をもちまして、第1回評価部会を閉会いたします。ありがとうございました。